

中施策評価書

作成日 令和06年 5月 9日

中施策事業名	保健衛生事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵
①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している		
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する		
③中施策	市民が安心できる地域の医療・福祉をつくる民間の活動を支援する		
④中施策事業の対象	・8020・8820表彰：80歳・88歳以上で自分の歯を20本以上保っている市民 ・フッ素塗布：1歳以上の市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	生涯にわたり歯を20本以上保ち、健康の保持増進につとめている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	豊明市医師会等補助金（愛豊歯科医師会豊明支部に交付）		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
8020・8820表彰の 対象者数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	270	270	270	270	0	0
	実績値	238	224				
単位	人						
・歯の衛生週間に 実施するフッ素塗 布人数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	400	400	400	400	0	0
	実績値	0	0				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				1, 005千円	1, 300千円	
	a 事業費合計			1, 005千円	1, 300千円	1, 300千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①ー②)				1, 005千円	1, 300千円	
市民一人あたりコスト (③÷市の人口(評価対象年度末時点))				15 円	19 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 歯科医師会と協議し実施。フッ素塗布事業に関しては新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。8020・8820運動表彰については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、2年ぶりに対面で実施。また歯と口腔の健康づくり推進条例の記念講演と同日に開催し歯科口腔に関する知識の普及啓発を広く実施できた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	生涯にわたりよい歯と口腔の状態を保つため、令和4年度より節目歯科健診の実施期間を延長し通年で実施することにより受診者の利便性を図っている。他の健診等においても口腔ケアについて情報提供していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	節目歯科健診の個人通知を継続。節目歯科健診の案内に、歯と口腔に関するパンフレットを同封し、正しい知識の普及に努めていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名 歯と口の健康週間事業	内容、理由、時期等 従来のフッ素塗布事業をキャラクターショーを取り入れたイベント事業として、令和6年度より開始。
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 5月 9日

中施策事業名	成人検（健）診事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵
①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している		
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する		
③中施策	多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	1年に1度検（健）診を受診する。結果により、医療機関への受診等、健康に過ごすための行動を起こすことができる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・がん検診 ・歯科健診 ・骨粗鬆症検診 ・特定健診 ・はつらつ健診 ・35-39歳健診 ・成人健診		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
胃がん検診における精密検査受診率 (要精密検査者数÷精密検査受診者数)	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	90	90	90	90	0	0
	実績値	80	78				
	単位	%					
各種がん検診延受診人数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	28,000	28,000	28,000	28,000	0	0
	実績値	22,840	20,644				
	単位	人					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				138,418千円	139,012千円	
	a 事業費合計			138,418千円	139,012千円	156,193千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				5,860千円
③ コスト (①－②)				132,558千円	135,867千円	
市民一人あたりコスト (③÷市の人口(評価対象年度末時点))				1,926 円	1,974 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 精密検査受診率は未受診者への受診勧奨・受診状況をタイムリーに確認し、また医療機関との連携を図り未受診者の状況の把握ができています。検診受診率は、コロナ前へ引き上げるよう、受診勧奨などはもちろん健康課題を分析した対策が必要である。また、子宮がん検診において女性検査用パンツの配布を開始したことにより、受診しやすい環境が整うとともに、受診率向上の効果も期待できる。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	受診率向上のため、個人通知や周知の工夫を実施する。特定健診や協会けんぽとの共同実施を行いながら市民が受診しやすい環境を整える。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	医療機関や委託業者と連携したタイムリーな受診勧奨を協議。また、他課と連携し健診受診へのPR活動などを行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 5月 14日

中施策事業名	休日診療所事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵
①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している		
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する		
③中施策	多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	- 日・祝祭日、年末年始に豊明市休日診療所を受診した者 - 市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	- 適切にかかりつけ医を受診できている - 急病の場合、豊明市診療所を知っており受診できている - 緊急時に受診できる病院を知っており、受診することができている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	豊明市休日診療所事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
患者人数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	0	0
	実績値	3,114	3,153				
単位	人						
市内にある、休日・夜間に診療可能な病院数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	4	4	4	4	0	0
	実績値	4	4				
単位	件						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				24, 204千円	26, 581千円	
人 件 費	a 事業費合計			24, 204千円	26, 581千円	22, 303千円
	正規職員	人数	0 人	0 人		
		b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				36, 120千円	48, 650千円
③ コスト (①－②)				-11, 916千円	-22, 069千円	
市民一人あたりコスト (③÷市の人口(評価対象年度末時点))				-173 円	-321 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザの流行により患者数が増加したため、流行の状況を鑑みて医師・看護師・薬剤師等のスタッフを増員し診療対応した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	感染症の流行等に対応できるよう、スタッフの体制を整えておく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き市民の安心安全な暮らしを維持できるよう、運営事業を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 11月 26日

中施策事業名	保健センター維持管理	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵
①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している		
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する		
③中施策	多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	各種検診・健康づくり事業の拠点として市民が安心して来所できる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設設備点検・保守		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
施設運営に重大な 影響を与えた故障 件数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位 件						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				10, 520千円	10, 690千円	
	a 事業費合計			10, 520千円	10, 690千円	10, 021千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				10, 520千円	10, 690千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				153 円	155 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 定期的な保守点検により、事業に支障をきたすような故障は発生していない。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	定期的な点検により、軽微な修理段階で異常を発見し、早期対応を実施。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	予防的な修繕、備品の更新のうち、大規模なものは公共施設管理課と調整しながら、小規模なものは計画的に予算を確保し、執行していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 5月 14日

中施策事業名	健康づくり事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵
①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	市民の体調や基礎体力を整えるための活動を支援する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民自ら健康の増進や疾病予防のために行動し、また地域全体でも取り組んでいる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ とよあけ健康21計画 ・ CKD対策 ・ 健康相談 ・ 健康づくり事業（出前講座、教室等） ・ 健康マイレージ		

評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
とよあけ健康ウォーキング参加人数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	830	830	830	830	0	0
	実績値	458	476				
単位	人						
大金星マイレージシートまいか交換枚数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	150	150	150	150	0	0
	実績値	70	33				
単位	枚						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				545千円	293千円	
	a 事業費合計			545千円	293千円	296千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				0千円
③ コスト (①－②)				545千円	293千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				8 円	4 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体に関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 特定健診実施後の予防教室に個別相談を加えながら、対象者に合わせた健康アプローチを実施。小学生向けのマイレージシートを作成し、幅広い世代への健康づくりの普及啓発に取り組むことができた。なお、コストが対前年比約54%となっているのは、事業規模が縮小したのではなく、積算する経費の範囲を限定（講師謝礼及び保険料）した影響によるものである。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	広報へ隔月で「+10運動」を掲載。併せてとよあけ健康ウォーキングの普及啓発も実施していく。とよあけ健康21計画の策定を通じ、市民の健康づくりに対する意識を高めていく。 また、特定健診後に実施する予防教室等やCKD対策委員会についても医師会と連携しより充実した内容を実施していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	広報へ隔月で「+10運動」を掲載。併せてとよあけ健康ウォーキングの普及啓発も実施していく。 予防教室や健康への正しい知識の普及については、関係部署と連携しながら、介護や医療と一体的に実施していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 5月 14日

中施策事業名	食育推進事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵
①めざすまちの姿	29 子どもが元気に外で遊んでいる		
②大施策	子どもが元気に外で遊べるまちをつくる		
③中施策	子どもの健康な育みを支援する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	食に関する正しい知識を持ち、健康的な生活を過ごす		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ おやこ食育教室 ・ ヘルシーレシピ		

■評価指標

中 ・ 長 期 成 果 に 対 す る 目 標 達 成 状 況							
3 歳児健診の間診 項目「毎日朝ご飯 を食べている」と 回答のあった割合	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	96	96	96	97	0	0
	実績値	46	96				
	単位 %						
ヘルシーレシピ設 置場所	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	12	12	12	12	0	0
	実績値	11	11				
	単位 か所						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				46千円	32千円	
	a 事業費合計			46千円	32千円	46千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				0千円
③ コスト (①－②)				46千円	32千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1 円	0 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B おやこの料理教室は、参加者数をコロナ禍から増加させ実施。メニューにはヘルシーレシピを取り入れ普及に努めた。図書館の特設コーナーで食育月間のPRを実施した。また、食生活改善推進員養成講座の開催により事業の継続・拡充の基盤が整った。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	ヘルシーレシピの普及について各課と連携していく。食育教室でのレシピ利用も引き続き実施していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	ヘルシーレシピの普及のため設置場所については公共施設や民間事業者と連携し設置場所を増やしていきたい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等